

命を運ぶ、その責任と誇り。

# 公共交通等の安全に関するシンポジウム

日時

平成18年 **9月5日(火)**  
午後1時30分～4時30分

会場

**第一生命ホール**  
東京都中央区晴海1-8-9  
晴海アイランド トリトンスクエア

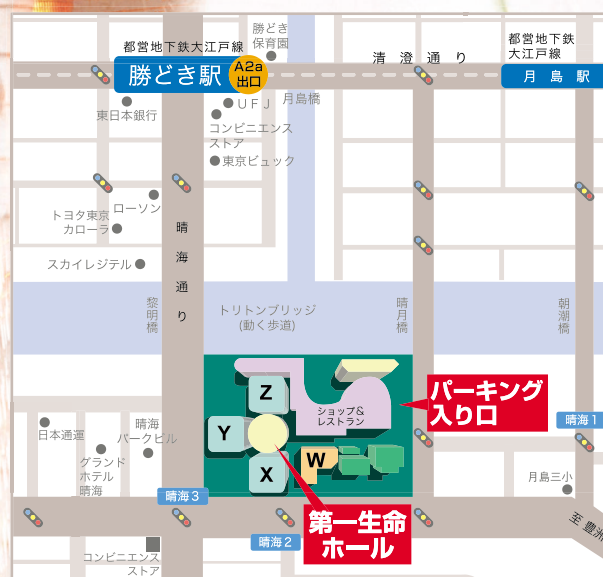
主催

国土交通省

【参加ご希望の方は事前の登録等が必要となります。】

後援 ◆(社)日本民営鉄道協会、(社)日本地下鉄協会、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社、第三セクター鉄道等協議会、(社)全国乗用自動車連合会、(社)日本バス協会、(社)全日本トラック協会、(社)日本旅客船協会、日本内航海運組合総連合会、(社)全日本航空事業連合会、(独)自動車事故対策機構

お問合せ先 ◆国土交通省大臣官房運輸安全監理官付企画第二係  
電話 03-5253-8111 (内線) 22054



●都営地下鉄 大江戸線/「勝どき駅」A2a 出口 徒歩8分

●都営バス

- ・東京駅から(都05系統)「東京駅丸の内南口」より乗車「晴海トリトンスクエア前」下車
- ・東京駅から(東15系統)「東京駅八重洲口」より乗車「晴海トリトンスクエア前」下車
- ・有楽町から(都03/05系統)「数寄屋橋バス停」より乗車「晴海トリトンスクエア前」下車

詳しくは、<http://www.dai-ichi-seimei-hall.jp/access/index.html>をご参照下さい。

## 趣 旨

## Purpose

昨年4月のJR福知山線における未曾有の大惨事(死者107名、負傷者549名)や有人踏切における事故等をはじめ、航空分野においても、運送事業者における管制指示違反等、陸上交通分野や海運分野においても様々な事故・トラブルが多発している。

これらの事象の多くの場合において、共通因子としてヒューマンエラーとの関連が指摘されていたことから、その背後関係を調べることを目的に、国土交通省では「公共交通に係るヒューマンエラー事故防止対策検討委員会」を設置し、本年3月に最終とりまとめを公表した。

本とりまとめにおいて、運輸事業者の経営トップから現場までが一丸となり安全マネジメント態勢を構築することと、その安全マネジメント態勢の実施状況を国が確認する「安全マネジメント評価」の仕組みを導入することなど、新たな具体的な方向性が示されたことを踏まえて、運輸事業者の安全マネジメント態勢の構築のための法案の提出を行なうとともに、国による安全マネジメント評価の実施に向けた諸準備を実施している。

こうしたことから、シンポジウムを開催することによって、改正法の施行に向け運輸事業者に対して安全マネジメント態勢の構築について周知し、また、「安全マネジメント評価」の実施等、国による公共交通等の安全確保に係る取組みについて認識していただくとともに、今後の公共交通等の安全の方向性を探る。

## プログラム

## Program

挨拶 ..... 13:30～13:35  
北側 一雄(国土交通大臣)

基調報告 ..... 13:35～13:55  
「安全管理体制の構築に向けた国の取組みについて」  
杉山 篤史(国土交通省大臣官房運輸安全政策審議官)

基調講演 ..... 13:55～14:55  
高 巖(麗澤大学国際経済学部教授兼企業倫理研究センター長)  
芳賀 繁(立教大学現代心理学部心理学科教授)

休憩 ..... 14:55～15:10

パネル・ディスカッション ..... 15:10～16:30  
「公共交通等の安全のあり方について」

### パネリスト(五十音順)

大前 傑(全日本空輸(株)代表取締役副社長)  
杉山 篤史(国土交通省大臣官房運輸安全政策審議官)  
高 巖(麗澤大学国際経済学部教授兼企業倫理研究センター長)  
辻尾 敏明(佐川急便株式会社代表取締役専務)  
芳賀 繁(立教大学現代心理学部心理学科教授)  
橋口 誠之(東日本旅客鉄道(株)代表取締役副社長(鉄道事業本部長))

### コーディネーター

寫 信彦(ジャーナリスト)